

おおだて 

令和6年8月1日 153号

市議会だより



令和6年6月定例会厚生常任委員会現地視察(6月6日)

大館市斎場建設地にて

議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 4
政務活動費の状況	▶ 11
常任委員会から・全国市議会議長会表彰	▶ 12
議会報告会(市への要望とその回答)	▶ 13
私もひ・と・こ・と	▶ 14

6 月定例会の議案等の審議結果



令和6年6月定例会は、5月27日から6月13日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、専決処分の報告2件、報告10件、専決処分の承認2件、条例案7件、単行案13件、予算案9件、人事案1件、合計44件でした。ここでは審議の結果についてお知らせします。

専決処分の承認

承認

- 認 第 5 号 専決処分の承認について（大館市市税条例の一部を改正する条例）
認 第 6 号 専決処分の承認について（大館市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

条例案

原案
可決

- 議案第110号 大館市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
議案第111号 大館市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例案
議案第112号 大館市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例案
議案第113号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
議案第114号 大館市児童発達支援センターに関する条例の一部を改正する条例案
議案第115号 大館駅前広場に関する条例案
議案第116号 大館市下水道条例の一部を改正する条例案

単行案

原案
可決

- 議案第117号 財産の無償譲渡について（旧大館第12分団羽立消防器具置場）
議案第118号 財産の無償譲渡について（旧大館市農林水産物直売施設）
議案第119号 財産の取得について（緊急告知FMラジオ2,000台）
議案第120号 財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD-I型）1台）
議案第121号 財産の取得について（資機材搬送車 1台）
議案第122号 市道路線の廃止について（浦山2号線）
議案第123号 市道路線の認定について（観音堂30号線、川口処理場線）
議案第124号 新市建設計画の一部変更について
議案第125号 大館圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結について
議案第135号 大館市斎場建設工事（建築工事）の請負契約の締結について
議案第136号 大館市斎場建設工事（機械設備工事）の請負契約の締結について
議案第137号 大館市斎場建設敷地整備工事の請負契約の締結について
議案第139号 大館市斎場建設工事（電気設備工事）の請負契約の締結について

補正予算案

原案
可決

- 議案第126号 令和6年度大館市一般会計補正予算（第1号）案
- 議案第127号 令和6年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第128号 令和6年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第129号 令和6年度大館市介護保険特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第130号 令和6年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第131号 令和6年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第132号 令和6年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第133号 令和6年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）案
- 議案第134号 令和6年度大館市下水道事業会計補正予算（第1号）案

人事案

同意

- 議案第138号 情報審査会の委員の任命について

6月定例会に提出された請願・陳情

継続審査

- 請願第4号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願
- 陳情第18号 ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情

継続審査となっていた請願・陳情

継続審査

- 請願第2号 大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書
- 請願第3号 四十八滝温泉及び雪沢温泉郷の利活用を求める請願書
- 陳情第3号 学校給食費の無償化を求める陳情書
- 陳情第4号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
- 陳情第6号 日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施
- 陳情第7号 学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて
- 陳情第13号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情
- 陳情第14号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 陳情第15号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情
- 陳情第17号 学校給食費の無償化を求める陳情書

不採択

- 陳情第16号 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書

人口減少と少子化問題 クマ対策の強化について

相馬 そうま

エミ子 えみこ
(市民の風)



〈問〉 政府の予測では出生数が80万人を下回るのは2033年頃を見込んでおり、10年以上も早いペースで、想定を超えるスピードで少子化が進んでいる。本市の人口減少を見ると、この10年間で約1万6000人も減少しており、また出生数も10年前に比べて32・4%も減少しており、逆に死者数が23・4%も増加していることが分かっている。人口減少について何か対策を考える必要があるのでは。新潟県出雲崎町の例を紹介するが、保育料を無償化したところ、町への転入者が増えており、また千葉県流山市は、子育て世帯に手厚い支援をアピールし、出生率全国一で注目されている。本市でも保育料を無償化する考えはないのか伺う。

〔市長〕 低下し続ける出生率の反転は容易でない。国の進める次元の異

なる少子化対策を注視し、若い世代への支援や、結婚・出産・子育て期の各ステージにおいて切れ目なく施策を展開し、無償化は考えていない。

〈問〉 県は県内全域にクマ出没警報を発令した。クマとの遭遇は山とは限らず、市街地にまで出没するクマはアーバンベアと呼ばれ全国的に増えており、最近ではクマの出没によるニュースが後を絶たない。住民の安全確保のためにもクマ対策を強化させる必要があると思う。また、鹿角市の例だが、クマの被害防止のため、栗や柿の木に対する伐採費用を補助するというものだ。本市でも伐採費用に対する補助を考えてはどうか。また、有害鳥獣駆除の単価についても、猟友会との話し合いの場を設けて対応すべきと思う。

〔市長〕 県から具体的な計画が示され、市の対策と併せてクマの被害防止策の強化を図る。今年度、おり10基を追加し、計30基で捕獲活動の体制を強化し、農作物被害防止の電気柵への補助も継続、広報やFMラジオ等で出没情報の迅速な発信に努める。樹木の伐採に対する支援も検討中である。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

空き家バンクの柔軟な運用について 子育て支援施策に専用アプリの活用を

菅原 すがわら

喜博 よしひろ
(令和会)



〈問〉 現在、仲介不動産業者のみを通じて登録が行われている空き家バンクについて、登録に至らなかった空き家や、多種多様な特色を持つ空き家なども積極的に取り上げ、移住希望者の幅広いニーズに応えるべく空き家バンクをより柔軟に運用すべき。

〔市長〕 自治体は宅地建物取引法により不動産の仲介ができないなど制約がある。この分野が緩和されることで、実現可能な施策も広がるものと考えているが、既存の業界との調整が必要になってくることをご理解願う。空き家対策は、中長期的な視点に立ちながら、まちづくりと一体となった住宅政策の推進が必要であると考えており、空き家や空き地等を

地域資源として活用しながら地域の課題を解決していく官民連携のまちづくりの手法である「リノベーションまちづくり」を取り入れながら、引き続き取り組んでまいりたい。

〈問〉 スマホの普及により、さまざまな情報提供や発信などのやり取りはほとんど専用アプリを使って行われており、既に日常生活には欠かせないものとなっている。本市の子育て支援施策においても、子育て世代への効果的な情報提供手段として、専用アプリの活用を検討すべき。

〔市長〕 独自アプリの導入については、数多くのアプリに埋もれて利用が進まず、効果を発揮できずに終わるケースも考えられることから、一定程度利用者数を見込める既存アプリのサービスを利用することも検討課題としている。現在、子育て支援分野に限らず、市民が直接利便性を感じることもできるスマートフォンアプリの導入について、安全性を含め情報収集を進めている。

人口減少による本市の対策は 小・中学校のトイレの洋式化について 五色湖キャンプ場について

はな 花田 強 (市民の風)



果である。市としては、おおだて未来づくりプランの中で結婚・出産・子育ての支援や健康長寿に向けた取り組みを推進していく。

〔問〕 小・中学校のトイレがまだに和式であるため不便である。市内25校の洋式化は平均で56・9%となり低い数値であり、将来的な洋式化に対する計画は。

〔市長〕 平成24年度から27年度まで35%を目指して改修工事を実施した。今後は70%を目指して計画的に進める。

〔問〕 五色湖キャンプ場はスノーピークのコンセプトに基づいて計画されている。コロナ禍で高まったキャンプ需要が落ち着いた現在だが、市長は常任委員会で本市にとって本当にふさわしいパートナーかを面談して見極めるとしていたが、山井社長と会ったのか。

〔市長〕 一般質問に合うテーマと合わないテーマがある。相手がいることだからなおさらだし、記録に残るから開陳するのは不可能である。野遊びSDGs事業を進めていく上で考えを共有できるパートナーとして、アウトドアの豊富な知見を持ったスノーピークと連携し整備を進めていく。

一般質問の全文は、9月中旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

人口減少時代に、我が大館がふるさと 秋田のために使命を果たすのに必要な ことは何か

おばた 小畑 新一 (公明党)



〔問〕 秋田県全体の持続性が心配されている状況においては、競争から共創の地方創生へかじを切るべき。

定住人口が減っても、昼間人口・関係人口の減少を抑えるために、本市は県北の中心拠点として都市機能の整備を進めるべきでは。

〔市長〕 防災・医療・経済・産業観光分野における広域の発展を目指す。秋田県北部地域全体の課題である道路や河川などの整備を国へ強く要望する予定であり、引き続き、圏域住民の安全・安心な暮らしの実現を推進していく。

〔問〕 県北の二次医療の中心機能は大館に持たせるためには、地域救命救急センターと高度治療室(HCU)はセットであってほしい施設である。早期の実現が望まれる。HCU設置の見通しは。

〔病院事業管理者〕 HCUについては、県北二次医療圏の中核病院としての役割を果たすため、令和7年度早期の設置を計画し、取り組む。

〔問〕 災害が発生した場合、学校の一般教室が福祉避難室として使用される場合の運営体制はあるか。

〔市長〕 一般の滞在スペースとは別に福祉避難室を設ける場合の運営マニュアルを用意し、対応する。

〔問〕 居住誘導区域の老朽化した水道管の更新についてはどうか。

〔市長〕 早期整備に努めている。病院や、学校、避難所など重要な拠点へ接続する配水管の整備を優先的に進めることとしている。

〔問〕 人口減少対策について。本市の婚姻数の増加に結びつく対策を講ずべきでは。

〔市長〕 本市のデータを収集・分析した上で、価値観等を尊重した支援に取り組む必要があると考える。

〔問〕 子育て支援策として、病児・病後児の保育支援を手厚くすべき。

〔市長〕 病児・病後児保育施設への送迎サービスを含め、保護者の働き方の多様化によるさまざまな保育ニーズに応える施策を検討する。

10年後の大館市の未来像について

ひかげ けんご
日景 賢悟（真政会）

このような観点から、福原市長には大いなる大館の明るい未来像を語っていただくことを期待し、私の市議会議員としての最後の質問を終わる。



〔市長〕 市長就任以来、大館を変え

ると決意してから9年間、ふるさと秋田のために我が大館ができることを念頭に、全力で市政運営に取り組んできた。

〔問〕 私が福原市長に対する最後の質問は、「福原市長が願う10年後の大館市の未来像について」この一問である。市長に就任して9年間、何を願い、何を求めて走り続けてきたのか。市民からの応援をいただきながらも、時には厳しい批判の声もあったかと思う。これらを乗り越え、今を生きて、未来を創りあげるためには、強い信念と熱い情熱が心の中に渦巻いていたかと思う。そして福原市長が考える確固とした大館の未来像があったはず。

ぜひこの場で今の福原市長が願う「10年後にはこんな大館市になってほしい」という、夢と希望を語っていただきたい。

大館のみならず、日本全国の地方都市は構造的な共通課題を抱えているが、時には大館の明るい未来を語る議論もあってしかるべきと考える。

「10年後の大館」の目指すべき姿を示したのが、今年から4年間を計画期間とする「おおだて未来づくりプラン」である。プランには、将来の大館を担う人材の育成に向けて、子どもたちに世界への架け橋をつくり、国や県と強固に連携した医療環境の整備によって安心・安全な基盤をつくり、産業の礎となる人流・物流・情報の循環を創出し、人とモノが行き交う拠点をつくるための各種施策を盛り込むとともに、新たに多様性を認め合う社会づくりの視点を方向性として取り入れた。

「匠と歴史を伝承し、多様性を力に変えていく『未来創造都市』」が本市の目指すべきまちづくりのコンセプトである。市民がお互いを認め合い、受け入れ、発展する大館市。それが私の思い描く大館市の将来像である。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

①将来的には複数の地域に包括ケアシステムを構築するとしながら、どうして十二所、比内、二井田、真中、上川沿など市南部地域1万5千人のケアシステムを構築している扇田病院を診療所にし、ケアシステムを壊そうとするのか。
②トップは同じでありながら、病院事業は包括ケアシステムの支援病院として扇田病院を継続していく。市は「診療所案を堅持する」と正反对だが扇田病院はどうなるのか。



さとう よしたか
佐藤 芳忠（市民の風）

壊すことです。

〔市長〕 将来的には市内の複数地域に介護施設や診療所などの整備を進め、扇田病院は診療所案を堅持するとしたものです。

〔問〕 横手市立大森病院の小野院長は、診療所では地域包括ケアシステムは完結できないと断言しているのに、どうして診療所にするのですか。

〔市長〕 医療事業の開設者として一番最善のものとして示しました。

〔問〕 医師のプロがケアシステムは診療所では無理だと言ってますが、市長は大丈夫だと言ってます。それならば、北地区や西地区に診療所を建ててケアシステムが成り立つかどうかを見てから、扇田病院を無床診療所にしたらどうでしょうか。診療所を建ててケアシステムが成り立つのであれば、私は扇田病院の診療所化に反対しません。ただ、病院はつぶしてしまえば終わりです。つぶす前に他の地区に診療所を建てて、ケアシステムが成り立つかどうかを見てからでも、扇田病院をつぶすには遅くはないと考えますがいかがでしょうか。

〔市長〕 介護や福祉の担い手である行政の案も擦り寄せたものとして分散型、小さな拠点を作っていく方向に誤りはないと思います。

福原市政の基本姿勢について

佐々木 いづみ 公司（令和会）



〈問〉 市長として9年余り。十分にやり切ったことは。また、志半ばのことは。

〔市長〕 第5代市長に就任してから未来創造都市を基本構想に掲げ、職員と全力で取り組んできた。併せて、人材育成にも力を注いできた。

「大館をつなぐ。」の取り組みについて

〈問〉 秋田犬の町を全国、全世界にアピールし、集客に結びつけては。

〔市長〕 秋田犬、「HACHI」は、世界的に有名な存在なので、秋田犬を郷土の宝として、県や渋谷区とともに、これからも物語を紡いでいく。

少子高齢化対策について

〈問〉 超高齢化社会に突入しているが、今までの取り組みと今後の対応は。

〔市長〕 高齢者が安心・安全に暮らせるよう、見守りや支え合いなどの高齢者支援事業を実施している。今後は持続可能な地域包括ケアシステム

ムの構築を目指す。

高齢者福祉の向上について

〈問〉 高齢者世帯へのエアコン設置費用等の支援は。

〔市長〕 熱中症患者は高齢者が多いため、その対策について、いろいろな機会を通じて、周知する。

人口増加への取り組みについて

〈問〉 子育ての取り組みで日本一を目指す考えは。

〔市長〕 大館で子育てしてよかったと思えるような子育て支援と家族に優しい社会の実現を目指す。

健康増進とがん対策について

〈問〉 健康増進とがん対策の取り組み状況は。

〔市長〕 がんや生活習慣病対策などへの取り組みと、健康診断を受けやすい環境整備に努め、受診率が向上している。

有害鳥獣対策について

〈問〉 クマの被害防止と対策は

〔市長〕 クマ出没時には速やかに現地報告をして情報共有を図っている。また、小・中学校には、保護者の皆さんへ一斉メールをし、登下校時間の調整、教職員による見守りなど、児童生徒に被害が及ばないよう現在対策を講じている。

一般質問

一般質問の全文は、9月中旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

夏場の災害時の避難所の生活環境改善について 秋田犬の里の活用について ほか

今泉 まき子（日本共産党）



〈問〉 災害時の避難所となる学校の体育館のエアコン設置を計画的に進めるべきでないか。

〔市長〕 災害時、二次避難所となる小中学校は、一般教室にはエアコンが設置されているが、体育館には設置されていない。夏場に小中学校に避難所を開設する場合は、特別な配慮が必要な方を優先し、エアコンのある教室等に避難してもらう。

〈問〉 秋田犬の里は、見学・買い物だけでなく、来場者が滞留できるように地・元食等を提供すべきでないか。

〔市長〕 施設内の飲食スペースについては、現状では建築基準法の要件などにより、常設できないと判断している。屋外の多目的広場や芝生広場などの活用も、皆様からご提案を頂きながら柔軟に対応していく。市内の観光案内に加え、周辺の飲食店

等を積極的に紹介していく。

〈問〉 旧朝市の駐車場・駐輪場の活用について。駅の第2駐車場として利用してはどうか。

〔市長〕 旧朝市駐車場跡地については、市有地として維持管理しており、現在、大館駅利用者の駐輪場として利用いただいているほか、一部を駐車場として貸し付けている。現時点において活用の計画はないが、駅周辺の状況などを踏まえ、有効な活用方法を検討していく。

〈問〉 新型コロナウイルス感染症への公費負担が3月末で全廃された。治療控えによる感染拡大・重症化を防ぐためにも、市として国に公費負担の全廃は見直すよう要望すべきではないか。

〔市長〕 令和6年3月29日付けで予防接種法の一部が改正され、新型コロナウイルス感染症の予防接種の定期接種は、65歳以上の方や、60歳以上65歳未満で心臓、腎臓または呼吸器などに重い障害のある方を対象に、年1回秋冬に行うことが示された。今後、接種開始日や使用するワクチンなど詳細について、国から示され次第、接種費用の助成なども含め検討していく。

日沿道大館南インターチェンジ周辺を基軸 とした道の駅創設について

田中 耕太郎（令和会）
たなか こうたろう



米代川水系の防災拠点整備と道の駅整備を連動し、広域的な防災道の駅を目指す。

〈市長〉 平常時は経済活動や地域振興、広域交流の中心となり、災害などの非常時は避難場所や復旧・復興支援のための人流・物流の拠点となる道の駅を、市街地に近く、道路ネットワークのハブとなる日沿道大館南インターチェンジ周辺へ整備すべきである。大館発展の核となる道の駅創設について、今こそ多くの関係者と英知を結集し、整備概要や資金計画、管理運営方針などを定め、一歩前に踏み出してはどうか。

〈市長〉 大館発展の核となる道の駅創出に向け一歩前に踏み出してほしいとの思いをしっかりと受け止めたい。

〈問〉 能登半島地震の復旧・復興に目を向けると、それぞれの道の駅が連携し、支援物資の輸送や炊き出しの拠点になるなど、道の駅から被災地支援の輪が生まれている。道の駅第3ステージの取り組みにかなう



〈市長〉 今年1月に国土交通省能代河川国道事務所が策定した米代川河川整備計画において、流域治水の理念のもと、上流部の防災関連施設設置予定箇所に本市が位置付けられた。道の駅整備については、従来の機能である道路利用者の利便性向上のほか、産業振興や広域観光の推進だけでなく、国が掲げる道の駅第3ステージのコンセプトにかなう防災道の駅として、広域防災と地域防災の機能を強化した安心拠点とすることが重要と考える。北東北の中心にある地理的優位や関係機関と築いてきた信頼を生かして取り組んでいきたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

子どもや家族の遊び場環境について 若者の流出対策について 働き方改革と人手不足対策について

石田 健佑（無所属）
いしだ けんすけ



TやDX、映像制作等の職種を増やすための企業誘致や地元企業の支援で若者の選択肢を増やす後押しをしてはどうか。

〈問〉 アスレチックや大型遊具が少ない、秋田犬の里を家族で楽しめる場にしてほしいとの声が多数ある。

休日、移動に2〜3時間かけて県外まで連れて行くと共働きの親が休む時間がない。子どもから高齢者までにぎわうような公園や秋田犬の里の整備等が必要と考えるが方針を伺う。

〈市長〉 大館版ネウボラ「さんまある」をつくり、そこで得た声を反映させて政策を作ってきたが足りていないとは思っていない。大型遊具だけではなく、周辺から子どもが集まることを目指す。秋田犬の里は、多くの方々が楽しく過ごせるようさまざまな仕掛けづくりを行ってまいりたい。

〈問〉 若者は仕事がないと話すが、雇用主は人手不足だと話しており、大きなギャップが生じている。若者は多種多様な職種を求めている。一

〈市長〉 市は製造業の工場立地だけではなく、物流、倉庫業、研究施設、IT関連など幅広く企業誘致を展開してきた。創業支援にも力を入れ、令和元年以降、年間10件程度の創業に結びついている。稼げる町を実現してまいりたい。

〈問〉 子どもの体調で休みがちになり職場に居づらく退職を考えている方や高齢者の働き場の工夫をしてほしいという方、週2〜3回なら働きたいという声がある。窓口やLINE等で老若男女が働きたい時に働きたい分だけ仕事を紹介する「仕事コンビニ」の整備を検討してみてはどうか。

〈市長〉 多様で柔軟な働き方を促進するためにさまざまな取り組みを行っている。例えば「働くパパママ応援企業認定制度」を導入し、子育てと仕事の両立を支援する企業を評価・認定しており、現在49社が認定されている。誰もが働きやすい環境づくり、労働力の掘り起こしを進めてまいりたい。

丸鬚^{まげ}行列等による観光振興について 市内特産のとんぶりについて

金谷^{かねや} 真弓^{まゆみ}（真政会）



〈問〉 今年2月、コロナ5類移行後初の大会アメッコ市が開催され、その中で日本髪ゆかしき丸鬚行列が3年ぶりに開催された。今年は雪がなかったが、例年であれば悪天候で草履、番傘など扱う小物が破損するものが多く、その費用は丸鬚実行委員会の会員の持ち出しとなっているのが現状である。文化継承とともに地域の活性化を志に続けてきた取り組みであり、行政からも、もう少しサポートをいただきたい。また、提案であるが、日本の伝統と粋を伝える「丸鬚行列体験型ツアー」と題し、観光客が楽しめるストーリー性を重視した官民連携の体験プログラムを組んでみてはどうか。

〔市長〕 日本の伝統文化は海外から非常に高く評価されており、地域の伝統行事への参加などをパッケージ化した体験型コンテンツを広く売り込んでいくことは有益であると捉えている。また、近年のインバウンドでは、地域の風土や風習、文化をアクティビティや体験レジャーを通じて楽しもうとする傾向が強い。観光客のニーズにかなう付加価値の高い体験型コンテンツを構築することは地域の「稼ぐ力」を高め、地域の活性化にもつながる。地域で知恵を出し合い、メニューを作る動きがあれば、実現に向けた支援を検討する。

〈問〉 畑のキャビアと言われて久しい「大館とんぶり」は2017年5月に地理的表示保護制度に登録された希少野菜であるが、食料・農業・農村基本法改正により、とんぶりの未来はどのようになるか。政策的展開は。

〔市長〕 生産者が110戸から5戸に減少。次世代に引き継ぐため、①生産コストの直接的支援、②門外不出の種子や技術を継承する仕組みづくり、③種子の強化、④新たな保存技術、加工品の開発を進めていく。④については健康や美容意識の高い消費者向けに、パッケージデザインを含めブランド価値を高める必要があると考えている。国内での需要が高まり、収量が増加した先に、輸出の拡大も視野に入ってくると捉えている。

一般質問の全文は、9月中旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

おおだて未来づくりプランのコンセプトについて

吉田^{よしだ} 勇一郎^{ゆういちろう}（令和会）



〈問〉 総合計画のメインコンセプト「多様性を力に変えていく」の進展度合いをどのように把握していくのか。

〔市長〕 コンセプトの進展度合いについては、定量的に捉えることは難しいため、関連施策のKPIによる効果検証に加え、大館市世論調査において、多様性への理解度や関心度を把握し、総合的に判断する。

〈問〉 世論調査では、理解度・関心度だけではなく、「新たなトライをしたか」「いい体験だったか」も聞いてほしい。最終アウトカムに近いところを見るべき。前例の少ない試みのため、事業の見直しも必要と考える。戦略立案・予測こそ多様な視点が生きる。見直しには、計画の立

案メンバーだけではなく、多様な人材をチームに入れるべき。

〔市長〕 所管の総務部長に対応してもらおう。

クマ誘引果樹の伐採補助

〈問〉 鹿角市と同じく、住宅地の不要な栗・柿を伐採する際に補助を行い、市民とクマの居住エリアを分けるように誘導してはどうか。

〔市長〕 住宅地の果樹伐採促進もクマ被害防止策として非常に効果的である。栗・柿が実る秋の前に伐採が可能となるよう、補助制度創設に向けて取り組む。

田植えの効率化補助

〈問〉 田植えを省力化する密苗用の農機具取得をする際に補助をしてはどうか。

〔市長〕 密苗栽培は省力化、育苗ハウスの省スペース化、資材の削減が期待できるため、生産性向上を図る取り組みの一つとして積極的に支援していく。

福原市政9年間の集大成となるおおだて未来づくりプランについて

たむら のりみつ
田村 儀光（真政会）



できる環境を整えるべきと考えるが。

〔市長〕 黄金の秋田犬像はインバウンドをはじめ国内外からの誘客につながる観光資源の一つとして、今後も積極的に活用してまいりたい。

〔問〕 地域商社設立について、3月議会の日景議員の一般質問に対し非常に前向きな答弁だったと記憶しているが、新プランに見当たらないと思うが。

〔問〕 令和6年から9年までの本市の最上位計画となるおおだて未来づくりプランが示された。福原市政9年間の集大成と思われるが、どのようなまちづくりを目指すのか。

〔市長〕 大館を変えようと決意してから9年、ふるさと秋田のために我が大館ができることを念頭に市政運営に全力で取り組んできた。新たなおおだて未来づくりプランでは持続可能なまちづくりの基盤となる長期的な視点として、新たに多様性（ちがいを認め合う社会づくりの視点を取り入れ、地域に暮らすすべての人がこれを感じることで、これをさらなる力に変え、未来に向けた新たな価値創出につなげることを目指していく。

〔問〕 黄金の秋田犬像は秋田犬の里に常設展示するなど、いつでも見学

町内会・自治会の維持・活性化を支援するため、市民協働関連職種のハブとなる担当部署の設置を望む

くどう けんいち
工藤 賢一（市民の風）



ないでいく体制としたい。

福田病院を国民健康保険指定診療施設に指定するよう環境整備を

〔問〕 急激な人口減少、高齢化、過疎化などを背景とした「担い手不足」により町内会や自治会の存続が危ぶまれている中、抱える課題は多岐にわたり、対応する市の関連部署も多い。ワンストップで対応する担当部署を設置すべき。また、各団体が抱える個別の課題を把握するニーズ調査を実施し、町内会・自治会活動の維持・活性化施策の推進を図るべきと考える。

〔市長〕 現在支え合い推進会議が、地区ごとに生活支援コーディネーターを配置し、地域づくりを支援する取り組みを行っているほか、町内会から市に寄せられる相談について担当部署にスムーズにつなげられるよう、情報の集約と共有を図っている。この窓口を総務部総務課とし、寄せられた課題は担当課にしっかりとつ

一般質問

検索

クリック

大館市議会

〔病院事業管理者〕 良い考えであるが、経営強化プランでは計画の4年間のうち大きな建て替え・改修、機器の購入はしない方針となっている。一方で保健事業の実施が必要となり人員増が必要となるため、あまり効果が出ない。しかし、施設が老朽化して建て替えや大きな施設整備が必要になった場合には、効果が期待できるため、検討してまいりたい。

せい お かつ どう ひ
政務活動費の状況をお知らせします (令和5年度)

政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人当たり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究等のために必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

◎令和5年度 (令和5年4月分) (単位：円)

議員氏名	収 入	支 出						支 出 合 計	市への 返還額
		調 査 研究費	資料作成 ・ 購入費	広 報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	その他 経 費		
佐々木公司	15,000		16,244					16,244	0
佐藤 芳忠	15,000							0	15,000
合 計	30,000	0	16,244	0	0	0	0	16,244	15,000

※ 改選前議員任期が令和5年4月までのため、申請した議員のみを掲載しています。

◎令和5年度 (令和5年5月～令和6年3月分)※ (単位：円)

議員氏名	収 入	支 出						支 出 合 計	市への 返還額
		調 査 研究費	資料作成 ・ 購入費	広 報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	その他 経 費		
吉田勇一郎	165,000	192,392	32,637					225,029	0
菅原 喜博	165,000	178,112						178,112	0
田中耕太郎	165,000	107,760						107,760	57,240
花岡 有一	165,000	196,690						196,690	0
藤原 明	165,000	152,720						152,720	12,280
伊藤 毅	165,000	107,760						107,760	57,240
秋元 貞一	165,000	133,152	45,000					178,152	0
佐々木公司	135,000	155,767						155,767	0
武田 晋	165,000	107,760	15,732					123,492	41,508
今泉まき子	165,000		63,505	80,790		4,380		148,675	16,325
伊藤 深雪	165,000	68,300	60,000	61,600				189,900	0
小畑 新一	165,000	205,999						205,999	0
石田 健佑	165,000	101,220						101,220	63,780
金谷 真弓	165,000		40,000	175,047				215,047	0
明石 宏康	165,000			286,674				286,674	0
柳館 晃	165,000	187,215	10,449					197,664	0
田村 秀雄	165,000	149,205						149,205	15,795
田村 儀光	165,000	158,046						158,046	6,954
日景 賢悟	165,000	207,370						207,370	0
石垣 博隆	165,000	121,220						121,220	43,780
工藤 賢一	165,000	147,796						147,796	17,204
花田 強	165,000	78,046	69,800				348	148,194	16,806
岩本 裕司	165,000	33,086		66,525				99,611	65,389
相馬エミ子	165,000	33,086		126,802				159,888	5,112
吉原 正	165,000	33,086	50,374					83,460	81,540
佐藤 芳忠	165,000	33,086					24,370	57,456	107,544
阿部 文男	165,000							0	165,000
合 計	4,425,000	2,888,874	387,497	797,438	0	4,380	24,718	4,102,907	773,497

※ 支出合計が収入を超えた分は、議員が自己負担しています。

常任委員会から

行政視察

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは5月に行った委員会の行政視察の概要をお知らせします。



人口減少・少子高齢化によってもたらされるさまざまな課題に対し、協働（公民連携）により課題解決を促進する取り組みについて説明を受けた。持続可能なまちづくりのため、協働を通じて市民の自立化を促し、住民自治力の向上を図るものであり、多くのことが参考になるものであった。

協働による新たなまちづくり事業について
（徳島県 徳島市）

○令和6年5月15日～17日

総務 財政 厚生

常任委員会



葉っぱビジネスでは、収入増により農家のやりがいアップだけでなく、高齢者の居場所ができることから心身の健康にもつながっている。また、ゼロ・ウェイストでは、町民一人ひとりがごみの削減に努めており、小さな町の大きな挑戦としてリサイクル率80%以上を達成している。持続可能なまちづくりを構築している両事業の考え方は、本市でも参考になるものであった。

葉っぱビジネス（いりどり）事業、ゼロ・ウェイスト事業について
（徳島県 上勝町）

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、議員在職25年議員に表彰状が伝達されました。



佐々木 公司 議員



明石 宏康 議員



吉原 正 議員



表彰状伝達の様子

令和6年
2月開催

議会報告会 市に対するご意見 ご要望とその回答

今年2月に行われた議会報告会における、市に対するご意見等につきまして、市当局から回答が
届きましたのでここに掲載いたします。紙面の関係上、すべてのご意見を掲載しておりませんが、
大館市議会ホームページでは全文を公開しておりますので、そちらでもご覧になれます。

問 除雪オペレーターの
変更により除雪の精度が
落ちている。オペレータ
ーに技術講習会や作業基
準の説明を行っている
か。行政でも技術指導し
ていくべきではないか。

答 オペレーターの高齢
化や人材不足は、年々深
刻化しており、大きな課
題となっております。市
では今冬、大館市道路除
雪業者表彰制度を創設
し、質の高い除雪体制を
確保するための取り組み
を実施しました。また、
平成24年度から除雪業者
へ固定経費制度を導入し
ております。今後も固定
経費制度等を維持・活用
しながら、業者への指導・
助言を継続してまいりま
す。

問 人口減少が進む中、
地域の特性に合った医療
体制の確保を、一次医療
機関と連携して行ってい
きたい。

答 本市及び周辺地域に
おける医療水準を維持し
たまま、一次医療から二
次医療までの医療ニーズ
に対応するためには「機
能分化と連携」の推進が
重要です。がん、糖尿病、
循環器等の領域で実施し

ている、地域連携パスに
よる二人主治医制の推進
につきまして、他の診療
科でも広げていけるよう、
大館北秋田医師会等と協
議してまいりたいと考え
ております。

問 市のクマ対策費用は
県のまねをしただけに見
える。市独自の対策を考
えてほしい。

答 令和5年度、捕獲従
事者に対し県と市が慰労
金を支払うこととしたし
ました。また、狩猟免許
取得費用につきまして
県と市の補助制度を合わ
せて活用することで、少
額の自己負担で免許を取
得することが可能となっ
ております。市単独の補
助制度といたしましては、
農作物被害防止に向けた
電気柵設置に対する補助
があるほか、令和6年度
からは、捕獲用のおりを
これまでの20基から30基
へ増やすなど捕獲体制を
強化してまいります。さ
らに新たな取り組みとし
て、野生動物撃退装置を
取り扱っている民間事業
者や国立大学の農学博士
との連携により、鳥獣被
害対策機器の実証試験を
行う予定となっております

す。この実験は県内初と
なる取り組みであり、そ
の有効性が認められた際
には、今後の本市におけ
る鳥獣被害対策に大きな
役割を果たすものと期待
しております。

問 医師確保を頑張っ
てほしい。市立病院の待ち
時間対策も検討してほしい。

答 医師確保につきま
しては、引き続き弘前大学
や秋田大学へ派遣依頼を
行うとともに、秋田県と
連携しながら医療職への
就業につなげるため、高
校生を対象にしたフュー
チャードクターセミナー
や病院見学会を今後も実
施してまいります。外来
診療の待ち時間につきま
して、総合病院では、限
られた医師が救急患者や
入院中の重篤患者などを
優先して対応するため、
長くなっております。今
後も引き続き医師の確保
に努め、待ち時間を少し
でも短縮できるよう取り
組んでまいります。

問 パブリックコメント
募集について、もっとS
NSを活用するべき。病
院事業経営強化プランに

関しては、市のホームペ
ージではなく、市立病院
のホームページに掲載さ
れていたため、発見が遅
れ、締切に間に合わなか
った。新聞以外でも周知
してほしい。

答 パブリックコメント
の実施に当たり、今後、
SNSを活用した周知を
行っていきたいと思います。
これまでパブリックコメ
ントを実施する際、市ホ
ームページ上で、個別に
記事を掲載してありまし
たが、新たにパブリック
コメントを集約するペー
ジを作り、検索性の向上
を図っております。

問 学び、資格取得、給
与アップなど、若い人
にお金を投資する市であ
ってほしい。

答 社会人の学び直しを
目的としたリカレント教
育事業や、時代に即した
能力を得るための資格取
得支援事業を実施し、さ
まざまな分野で活躍でき
る人材づくりを進めてお
ります。また、幅広い世
代の移住やAターンの推
進に向けた相談体制の充
実や、移住支援金による
助成などの重層的な取り
組みにより、住みやすく

暮らしやすいまちづくり
を進めております。

問 行政に町内会の担当
窓口がない。札幌市には
「札幌市未来へつなぐ町
内会ささえあい条例」が
ある。議論してほしい。

答 町内会の運営方法や
在り方は、各町内会の実
情に応じ、議論してい
くべき時期であると考え
ております。町内会は地
域社会を支える重要なパ
ートナーであり、福祉分
野など暮らしに関わる様
々な関係機関、事業者、
企業を含め、より一層連
携していく必要があると考
えております。町内会か
らいただく相談は専門性
が求められる内容が多
く、所管部署で対応して
いますが、町内会で活用
いただける助成制度のメ
ニュー化を行うほか、市
から町内会に依頼する案
件など、市と町内会との
関係の在り方につきま
しても検討してまいります。

問 除雪の予算は余ると
どうなるのか。

答 除排雪に関する予算
の余剰金につきまして
は、不用額として処理す
ることになります。

私もひ・と・い・と 第54回

しょうじ
庄司

かおる
馨さん
(柄沢)



大館というところ

私は昭和42年大館生まれの大館育ち、高校卒業後東京に進学し4年間大館を離れたが、半世紀以上大館で暮らしている。大館は昭和35年が人口のピークでその後減少傾向をたどり、今に至っているようだ。確かに、人口の減少は正直肌で感じる部分でもある。当時私が通っていた学校は生徒であふれかえっていた。小学校は39〜40人のクラスが各学年4〜5クラスあった。中学校も同じくらいの人数のクラスが各学年9〜10クラスあったと記憶してい

る。また、大館の中心は大町だった。

老舗百貨店正札竹村を中心に大町商店街は連日市民が通っていた。休日になれば大勢の人でにぎわっていた。大文字通りでは一人踊りと称し、たくさん市民が参加していた。新町の交差点付近から御成町方向を見ると、踊り子さんが長蛇に連なっているのは圧巻だったのを覚えている。正札竹村は百貨店だけに本場にたくさんの品物であふれていた。屋上遊園地などもあり、エレベーターにはなんとエレベーターガールが案内をしてくれており、今でいうアミューズメントパークみたいで、わくわくが止まらない感じを覚えている。秋北バスターミナルも市民の憩いの場であった。各バス乗り場人が並んでいたのを思い出す。大館にも映画館が4つもあった、銀映、中劇、オナリ座、日活、初めて見た映画はジョーズだった。大スクリーンと大音量に圧倒された。当時はほぼ満席だった。就職してからは同僚とよく国際通りに通った。まだ多くの店が開店し、

社会福祉法人大館圏域ふくし会
白沢通園センターに勤務
昭和42年生まれ57歳
福祉の仕事について35年
健康を気にするお年頃になりました。

各お店の看板やネオンで明るかった。通りは自分も含めた酔っ払いが大勢いて避けて歩くのが当たり前であった。そんな時代もあったと懐かしと思う。大館の生活は正直そんなに不便を感じたことはない。ただ遊びに行く、普段の買物以外は他県に足を運ぶことが多いのは私だけではないと感じる。人が生活する上で必要なものは衣食住だけではない。毎日同じ生活を送る中で、ストレス発散や趣味の充実、家族での楽しみなども必要となる。あれだけの人はどこにいったのか。少子高齢化は大きな問題だと思うが、私の同級生の半数以上は大館に住んでいない。わが故郷が消滅してしまうかもしれない。今一度何が必要なのか考えるべきなのではないか。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
また、表紙の写真についても募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

議員の辞職について

令和6年6月30日をもって、次の議員が辞職しましたのでお知らせします。

辞職した議員

石田 健佑議員(無所属)
日景 賢悟議員(真政会)

編集後記



(吉田 勇一郎 記)

市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。5月に総務財政・厚生両委員会合同による行政視察に行っていました。公民連携(市民協働)に力を入れている徳島市には、市民組織と行政との関係を取り持つ民間団体があります。その団体の方から数々の失敗例のリアルな共通点を教えてもらい、市民組織と行政との協力の進め方に明確な将来像をつかむことができました。私たち市民みんなのおおだてです。一緒にまちづくりに取り組んでいきましょう！